

令和4年度 自己評価結果公表シート

日知屋東幼稚園

1. 幼稚園の教育目標

<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園の目標 子供の「自立」と「共生」の心を育む ○上記目標達成のために 「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める
--

2. 本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した幼稚園評価の具体的な目標や計画

<p>重点的に取り組むことを目標にした幼稚園評価の具体的な目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動する教育の充実に努める。 2. 規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に努める。 3. 家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。 4. 安心して安全な幼稚園を保証するための取り組みに努める。 5. 幼稚園と小学校との連携を推進する。 6. 共生の心を育むための交流体験の充実に努める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1)教育活動の充実	A	行事計画等にねらいを明示し、事後評価が具体的にできるように取り組んだ。今後、評価を踏まえた行事や活動の精選を図り、新設・時期・内容の充実に努めたい。
(2)道徳指導等の充実	A	めざす幼稚園像や育てたい子ども像を行事等のねらいとして、共通理解・共通実践に努めてきた。道徳的な実践の場としての「遊び」にも成長のあとが見られるようになってきた。
(3)基本的な生活習慣	A	声をかけると実践できる子ども達が増えてきている。特に感謝の言葉は、日常聞かれるようになってきた。今後、保護者と連携し、共に活動できる機会を増やして行きたい。
(4)安心して安全な幼稚園	A	避難訓練等は保護者も参加するなど、定期的を実施することができ、警察署・消防署も指導をいただいた。不適切な保育については、アンケート等を行った。さらに意識を高めていきたい。
(5)小学校との連携	B	コロナ禍の影響で、小学生・園児間の交流活動はできなかったが、職員間ではリモートの研修や相互の連絡会を通して連携を保つことができた。今後さらなる連携の在り方を探りたい。
(6)豊かな交流体験の充実	B	外部講師との交流はほぼ実施することができたが、昨年度に続き、福祉施設の訪問や地域の方々や事業所等への感謝の意を伝える交流体験は、コロナ禍の中で難しいものがあった。

4. 幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
A	めざす幼稚園像・育てたい子ども像の達成をめざしての4年目であった。コロナ禍で、制限があった中でも、園生活全般・各行事で意識して取り組むことができた。保護者の幼稚園評価の結果でも、AもしくはBの評価が98.2%（昨年度97.8%）であり、保護者からも園内の保育活動について、一定の評価をいただいた。今後は、さらなる定着を目指して、活動内容の充実に努めたい。

◎「3、4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

評価項目	課題と具体的な取組方法
(1)教育活動の充実	めあての設定と活動との関連をさらに明確にし、実践を通して活動の充実に努めていく。職員のキャリアアップ研修を充実に努める。
(2)道徳指導等の充実	体験活動の機会を増やし、活動内容を重視していくことで、道徳的な指導の充実に努めていきたい。
(3)基本的な生活習慣	教師間の共通理解と一貫性のある指導の継続により、「あいさつ」と「ありがとうの感謝の言葉」の日常化をさらに図って行きたい。
(4)安心して安全な幼稚園	適切な保育を実施していく。定期的な安全点検並びに保育者の安全意識を高めていく。避難訓練は、想定を多様化していく。
(5)小学校との連携	情報交換に偏ることなく、教師間の相互交流や教育活動の見学を実施することで、連携を深めていきたい。
(6)豊かな交流体験の充実	キャリア教育の観点から、中学生及び高校生との交流、事業所や施設との連携を図り、コロナ禍前の交流体験に戻していきたい。